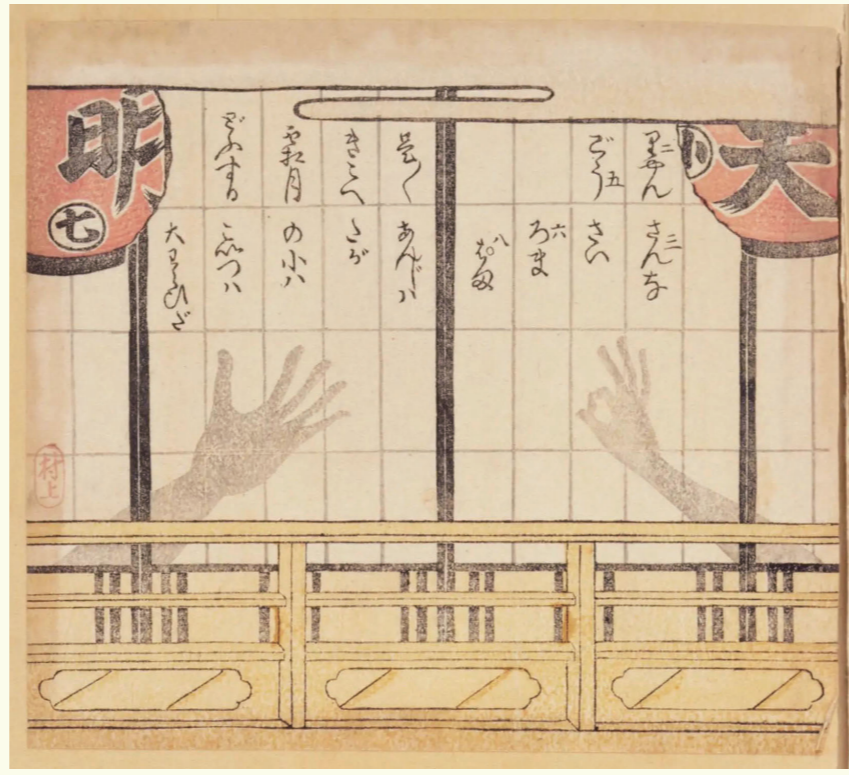


2026 8

葉月 August 令和8年 丙午

神武紀元2686年 平成38年 昭和101年
大正115年 明治159年 イスラム暦1448年



けんあそ 拳遊び

数拳は、互いに数を言い合いながら指を曲げ伸ばして数を示し、双方の出した手の合計を言い当てるゲームである。右側の障子に書かれているのは数の呼び名で、「りやん(二)さんな(三)ごうさい(五)ろま(六)ばま(八)」と書かれている。左側には「是くあんじはきこへたが霜月(十一)の小はどふする こいつは大わらひだ」つまり、数拳では両手の指の数である十以上の呼び名がないため、十一を表せないということである。手前の提灯には「天、小」「明、七」と書かれ、天明七年(1787)の月の月に一致する。

大小の並びは以下の通り

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二
大 小 小 大 小 小 大 小 大 大 小 大

日 Sunday	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Thursday	金 Friday	土 Saturday
第31週  立秋/りっしゅう 旧暦7月、申の月の正節で、新暦8月8日頃である。暦のうへでは秋に入るが、実際には残暑は厳しく、立秋の頃、高温のピークに達する。しかし、風や雲などに何となく秋の気配が感じられる。	第31週  処暑/しよしょ 旧暦7月、申の月の中気で、新暦8月23日頃である。暑さがやむの意味から処暑という。涼風が吹きわたる初秋の頃で、暑さもおさまり、綿の花が開き、穀物が実り始め、収穫の候も目前となる。	八朔(はっさく) 八朔とは八月朔日(ついたち)の略である。本来、旧暦の祝いであり、農家では早稲(わせ)を贈る風習があった。田の神に感謝し、「造り物」を引き回す祭りもある。「田の実(たのみ)の祝い」ともいい、祝賀と親和を表すようになり、町人や武家にも広がっていった。とりわけ、徳川家康の江戸入城がこの日だったことから、幕府の大切な式日となった。京都の祇園では、舞妓や芸妓が師匠や茶屋を回って挨拶をする。	世界の先住民の国際デー 8月9日は先住民の権利と保護を標榜する日である。国連が主導し、1994年に制定された。これに先立ち、国連は1993年を「世界の先住民の国際年」と定め、先住民の人権と文化の擁護を訴えた。そして1995年から10年間、「世界の先住民の国際の10年」の活動が始まった。日本では1997年に「アイヌ新法(アイヌ文化振興法)」が成立し、アイヌの民族としての尊重と、文化の継承・振興が推進されるようになった。	山の日 「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝すること」を趣旨とする国民の祝日。8月11日を祝日として2016年から施行された。「海の日」以来20年ぶりの祝日の制定であった。	ベルセウス座流星群 三大流星群の一つ。年間でも常に1・2を争う流星数を誇り、条件が良ければ1時間あたり60個以上の流星が観測される。極大の時期が月遅れほん直前なので、注目されやすい。7月の下旬には流星が流れ始めるが、流星数が増えるのは8月中旬になってからである。	中潮  赤口 八朔 旧六月十九日
第32週 2 先勝 中潮	第32週 3 友引 中潮	第32週 4 先負 小潮	第32週 5 仏滅 小潮	第32週 6 大安 小潮	第32週 7 赤口 長潮	第32週 8 先勝 若潮
大雨時行(たいうときどきふる) ときどき大雨が降る 六月二十七日	六月二十一日	六月二十二日	六月二十三日	六月二十四日	立秋 涼風至(すずかぜいたる) 涼しい秋風が吹き始める 七月二日	六月二十六日
第33週 9 友引 世界の先住民の国際デー 中潮	第33週 10 先負 中潮	第33週 11 山の日 仏滅 大潮	第33週 12 大安 大潮	第33週 13 先勝 ベルセウス座流星群(極大日) 大潮	第33週 14 友引 大潮	第33週 15 先負 月遅れほん 終戦記念日 中潮
六月二十七日	六月二十八日	六月二十九日	六月三十日	寒蝉鳴(ひぐらしなく) ひぐらしが鳴く 七月二日	七月三日	七月三日
第34週 16 仏滅 中潮	第34週 17 大安 三りんぼう 中潮	第34週 18 赤口 中潮	第34週 19 先勝 旧七夕 小潮	第34週 20 友引 小潮	第34週 21 先負 小潮	第34週 22 仏滅 長潮
七月四日	七月五日	豪霧升降(ふかきさまりとう) 濃い霧が立ち込める 七月七日	七月七日	七月八日	七月九日	七月十日
第35週/第36週 23 若潮 大安 30 中潮 赤口	第35週/第36週 24 中潮 赤口 31 中潮 先勝	第35週/第36週 25 中潮 先勝	第35週/第36週 26 大潮 友引	第35週/第36週 27 大潮 先負 旧ほん	第35週/第36週 28 大潮 仏滅	第35週/第36週 29 大潮 大安 三りんぼう
処暑(23日) 綿附開(わたのはなしべひらく) 綿を包む苧(かく)が開き始める	七月十二日(24日) 七月十九日(31日)	七月十三日	七月十四日	七月十五日	天地始肅(てんちはじめてさむし) ようやく天地の暑さが鎮まる	七月十七日